新たなニーズ 介護事業者はいま 問われる現場 〔283〕

介護付有料老人ホーム ルルドの泉（札幌市厚別区）

医療機関連携、有資格者配置で安心提供

機能訓練に音楽療法導入

職員が経験生かし 質の高いケア提供

浴室に天然温泉、食事にも力入れる

ゆっくり暮らしても

介護付有料老人ホーム「ルルドの泉」（札幌市厚別区）は、フランスのピレネー山脈ふもとにあるルルド村の、病気やけがが治るという奇跡の泉にちなんで命名された。関連病院との連携で医療・健康面の不安を解消し、天然温泉かけ流し露天風呂など高齢者が快適に過ごせる環境を整えている。

【運営主体】株式会社メディカルレイ
【住所】札幌市厚別区厚別東3条6丁目5—35
【電話番号】011(898)3222
【関連施設】新札幌パウロ病院、ケアハウス桜、グループホーム春桜など

ルルドの泉は野幌森林公園に近い住宅街の中、大きな通りから離れ小野津幌川に面している。周囲の建物になじみ、目立たない二階建てのホームは隠れ家的雰囲気があり、不思議な居心地の良さを感じさせている。

オープンは十九年十一月二十九日。十二月中旬から入居があり、現在は全六十三室中九室に入居。

「じっくりといろいろな施設を見てもらい、ここを選んでいただける人だけに入居してもらっています。慌てて居室を埋めるような広報や営業はしていません」と佐藤直美ケアマネジャー。終の棲家（ついのすみか）として入居者同士が互いに良い関係をつくれるよう、営利的考えを優先させない取り組みだ。

現在の入居者は自立から要介護3まで、夫婦も一組いて最高齢は九十五歳。スタッフは看護師二人、介護福祉士四人、ヘルパー一、二級など専門職で固め、関連の新札幌パウロ病院はじめ医療機関連携も充実。入居者に何かあっても万全な対応ができるようしている。

「スタッフは関連病院やグループホームなどからの配置替えではなく、開設に合わせて新規に採用しました。ナースをはじめ、特養などの高齢者介護・医療経験者ばかりです」

新規採用スタッフのチームワークを形成する面でも、時間をかけた入居が好都合という。経験あるベテランがチームとしてサービスを提供することで、満足感を高め、入居者本位の質の高いサービスをつくり上げている。

「私は高齢者マンションや在宅サービスを経験してきています。例えば利用者のお部屋を訪問する際は、ノックして返事を聞いてから入るのが在宅では当然のことですが、従来型特養ではお部屋にそのまま入り、ケアをするのが当たり前になっています。ここはお部屋はその方の住居。ノックしてから、おじゃまするのが当然です。特養など他のサービス経験者と、そうした人ホームとしてのケアに、各スタッフのキャリア、職能が存分に発揮できるようしている。

「入居者を一斉に受け入れて、流れ作業のようなサービスはしたくありません。入居者が住み替えたような感じで、アットホームなサービス提供の仕方などについても十分に意見を交わしました」と佐藤ケアマネ。

経歴、資格の異なるスタッフが意見交換することで、経験や考えを共有し良いところを取り入れ、スキルアップにつなげた。有料老人ホームとしてのケアを